

3組が結婚・婚約、7組が交際中 結婚サポートセンター



市は、独身の男女に出会いの場を提供する柳川・みやま結婚サポートセンター「なかだっつあん」をみやま市と共同で運営しています。会員数は約200人で、これまでに3組が結婚・婚約。現在、7組が交際中です。

■会員募集中

会員登録すると、会員の紹介やお見合いの申し込み、結婚に関する相談などのサービス、ブライダル経験が豊富な専門スタッフから受けることができます。登録をお待ちしています。

●場所 大和公民館2階

●開所時間 正午～午後7時（毎週火、水曜日と、12月29日～1月4日は休み）

●登録条件 男性＝柳川市、みやま市に住所があるか勤務している20歳以上の独身者、女性＝20歳以上の独身者（市内外は問いません）

●登録方法 写真、免許証、保険証、印鑑を持って同センターで直接申込

●登録料 3000円（2年間有効。そのほかの費用は一切不要。ただし、パーティの参加費用は自己負担）

【問】同センター（☎77・8787）

空き家バンク制度のメリット

売りたい・貸したい人

登録すれば無料で市のホームページなどで紹介してもらえるのはうれしいわ

- ・登録無料
- ・登録物件を市のホームページなどで紹介
- ・個人情報は市が管理するので安心

買いたい・借りたい人

個人情報は市が管理してくれるなら安心だ

- ・登録無料
- ・登録すると市が物件の詳しい情報を提供
- ・個人情報は市が管理するので安心

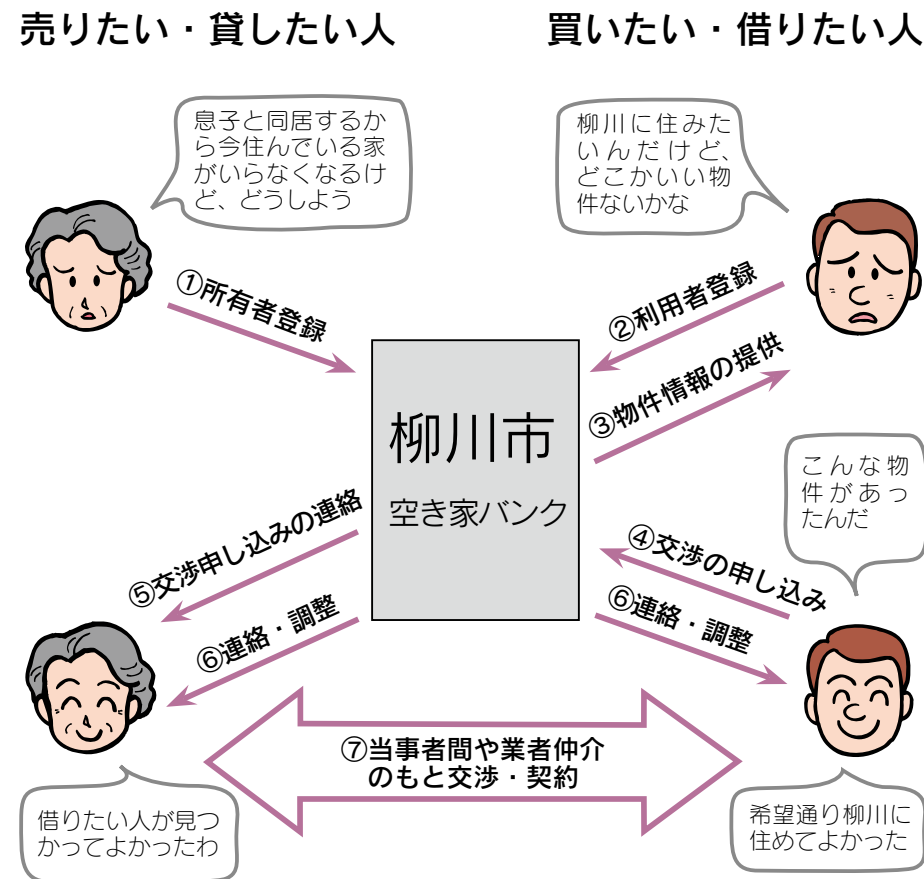
【問】市企画課（☎77・8423）

借りたい人
市内に住みたいと考えている人

登録方法
市企画課で配布する申請書に必要書類を添えて、同課へ提出。申請書は、市のホームページからも取得できます。

交渉・契約
物件の利用希望者が現れた場合は、所有者と利用希望者の間で交渉や行ってもらいます。その際、交渉や契約によるトラブルを防止するため、宅建業者へ交渉や契約の仲介を依頼されることをお勧めします。宅建業者の仲介により契約が成立した場合は、法で定められた範囲内の仲介手数料が必要です。

空き家バンク制度のイメージ図



市は1月から、市内への移住・定住を促進する「空き家バンク制度」を開始します。空き家や空き地の所有者は、眠っている資産の有効活用ができ、市内に住みたいと考えている人は、必要な物件情報を手で取ります。空き家や空き地を所有している人や、物件の情報を利用したい人は、空き家バンクに登録をお願いします。

■市が空き家や空き地の情報を発信
空き家バンクに登録した「売りたい・貸したい」空き家や空き地の情報を、市のホームページなどで紹介します。

■物件登録できる人（売りたい人、貸したい人）
住むことを目的に建築または取得し、現在住んでいないか近い将来住まなくなる家や土地を市内に所有する人

■利用登録できる人（買いたい人、借りたい人）
市内に住みたいと考えている人

1月からスタート

市内への移住・定住を促進
空き家バンク制度
空き家や空き地の登録をお願いします



市民まつりで展示した煙体験ハウスに入る子ども

宝くじ助成金で煙体験ハウス購入

市消防本部は、煙体験ハウス、煙発生装置、消化訓練用品などを宝くじの助成金で購入しました。購入した訓練用品は、今後の避難訓練指導で活用して市民の防災意識を高めていきます。11月26日と27日に開催された柳川市民まつりには煙体験ハウスが登場。中に入った子どもたちは「煙で前が見えなくて何回も壁にぶつかって怖かった」と火災時の煙の怖さを体験しました。



活気あふれるセリの様子を見学する参加者

早朝の活気ある魚市場を見学

市内の生産業や流通業などの現場を紹介し、改めて市の魅力や底力を知ってもらおうと行っている「よかばんも～体験」。12月の体験は10日、県内3位の取扱い高を誇る筑後中部魚市場を見学しました。この日、参加者は朝5時に集合。市場の職員の案内でセリ場に向かうと、所狭しと並べられた魚が、次々と競り落とされる活気に満ちた光景にびっくり。見学後の質問タイムでは、有明海産の魚介類の取扱いが30年前の3%にしか過ぎないことを聞き、有明海の不漁が深刻なことを改めて認識していました。